東京都、エネルギー安定供給や脱炭素化要望 国・東電に

#東京 #関東 #環境エネ・素材

2022/4/23 2:00

小池百合子知事が電力逼迫への対応について説明した（22日）=東京都提供

東京都の小池百合子知事は22日、政府と東京電力ホールディングスに対し、エネルギーの安定供給などについて要望したと発表した。福島県沖で発生した地震や気候変動、ウクライナ情勢などの影響で電力需給が逼迫するおそれがあるとして、電源確保や脱炭素化に向けた取り組みの強化を求めた。

同日の記者会見で発表した。東電には休止している火力発電所の再稼働による電源確保や情報開示を求めたほか、電気料金の安定化や再生可能エネルギーの利用最大化を要望。政府にはピーク時の電力逼迫への対応に加え、住宅の省エネ化や再エネ設備の導入加速に向けた取り組みを求めた。

一方、東京都は中長期的なエネルギーの安定確保に向け、電力を「減らす、つくる、ためる」ための取り組みを推進していくと発表した。企業向けの相談体制の整備や、環境配慮型の住宅普及に取り組むと表明した。小池知事は電力逼迫の回避に向け「総力戦で臨むため都民や事業者にも行動を起こしていただかなければならない」と呼びかけた。